

令和 3 年 6 月 28 日現在

機関番号：23501
 研究種目：基盤研究(C) (一般)
 研究期間：2017～2020
 課題番号：17K02561
 研究課題名(和文) カリブ文学におけるエコフェミニズムの可能性

研究課題名(英文) Ecofeminism in Caribbean Literature

研究代表者

齊藤 みどり (Saito, Midori)

都留文科大学・文学部・准教授

研究者番号：30759858

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、カリブの女性作家によって書かれた作品を横断的に分析し、エコフェミニズムの観点からマリー・ヴュー・ショヴェやポーリーン・メルヴィル、エドウィージ・ダンティカなどの女性作家の作品分析を試みた。2017年度はカリブ文学における環境批評の枠組みに着手し、2018年度は研究がほとんどされていないマリー・ヴュー・ショヴェの作品を分析し、2019年度にはポーリーン・メルヴィルの作品を研究した。2020年度には、今まで論じられていなかったエドウィージ・ダンティカの作品におけるマリー・ヴュー・ショヴェの思想の影響について論じた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

カリブ文学における環境批評の中でも女性作家の作品を扱ったものは少なく、また言語も英語圏に偏っているため、カリブ文学における環境批評を包括的に行うには言語的な横断が必要であった。特にカリブの環境と女性の抑圧について多大な関心を示したマリー・ヴュー・ショヴェの作品は日本ではほとんど論じられてこなかった。同じハイチ出身の女性作家でありながら、使用言語が異なるために比較研究されなかったショヴェの作品とダンティカの作品を比較し、ダンティカの作品の根幹にショヴェの思想があることが解明できたのは意義があると考えられる。また、研究の少ないポーリーン・メルヴィルの作品も分析できたことは成果である。

研究成果の概要(英文)：I examined and compared the novels of Marie-Vieux Chauvet, Pauline Melville and those of Edwidge Danticat. As the novels written by the above three authors have rarely been discussed in relation to environmental issues in the Caribbean, my analysis of these texts demonstrates three writers' continuous concern for the environment and predicament of the women. Connecting and comparing these novels written by three writers would reveal not only their insights into the environmental issues in the Caribbean but also foreground important aspects of Caribbean literature. Above all, my research has offered a new perspective on a relatively known author, Edwidge Danticat, that she has received a great influence from a prominent Haitian literary figure, Marie-Vieux Chauvet, and her writings are written in conversations with Chauvet.

研究分野：ポストコロニアル 文学

キーワード：カリブ 文学 環境文学 エコフェミニズム 比較文学 フェミニズム

1. 研究開始当初の背景

初期のカリブ文学の作品では、カリブの自然は女性として象徴され、女性の出産力は自然の再生の力と結びつけられていた。しかしカリブの女性のイメージとしてヨーロッパにひろがったものはヨーロッパの男性達によって作られたものであり、経済力もなく、教育も受けることのできなかつたカリブの女性達の声は、つい最近まで聞き届けられることはなかつた。

女性をカリブの自然になぞらえ、女性を従属的で受動的なものとして表現する初期のカリブ文学の傾向は、植民地を解放することが何よりも優先され、女性の解放は後回しであった社会の状況を反映したものといえよう。結果として、カリブにおける国家や国民文学の創出からは女性たちは締め出され、カリブの女性作家たちの文献は1980年までは考慮されてこなかつた。しかし、このような動きに対抗して現代のカリブ女性作家たちは女性と自然、あるいは女性と家庭という結びつきを書き直している。しかしながら、カリブの女性作家の環境への関心をジェンダーの観点から研究した論文は少ない。

以上の点からカリブ出身の女性の作家が、どのように「自然」という概念と対峙し、ジェンダーの問題に取り組んだかをマリー・ヴュー・ショヴェ、エドゥヅジ・ダンティカ、ポーリーン・メルヴィルなどの女性作家の作品分析を通じて考察した。

2. 研究の目的

自然と女性がわかちがたく結びついているカリブの文学を、エコフェミニズムの観点から調査することで、自然という概念の人工性と政治性の考察を目標とする。そして自然という概念の再考察を通して、女性にまつわるイメージの人工性と政治性も分析する。カリブの文学をポストコロニアル・環境批評・ジェンダー批評の観点から横断的に分析し、論じられることの少なかつたマリー・ヴュー・ショヴェやポーリーン・メルヴィルなどの女性作家の作品分析を試みる。

3. 研究の方法

カリブ文学の環境批評を分析し、British Library、Senate House Library、Goldsmiths Libraryなどで資料を収集する。研究の遂行のために、国内では会員である多民族文化研究会、環境・文学学会、海外ではSociety for Caribbean Studiesの学会などで発表をして研究の助言を得るようにした。研究全体を通じて、都留文科大学附属図書館、ロンドン大学のSenate House Library、Goldsmiths Libraryのオンライン・データベースも使用した。初年時は研究の枠組みともなる理論を中心に分析を行ったが、初期のカリブ文学作品や批評は国内では入手困難なため、British Libraryで資料調査を行った。2年次もBritish Libraryで資料調査を行ったが、3年次と4年次は国内で収集した資料をもとに研究をした。

4. 研究成果

2017年度はカリブ文学とエコクリティシズムについて"Caribbean Dialogue on Ecocriticism"として2017年10月21日開催のInternational Conference on Ecocriticism and Environmental Studiesで発表した。さらにカリブにおけるプロットとプランテーションの意味を「プロットとプランテーション ハイチ文学にみるポストコロニアリズムとエコクリティシズム」として2017年12月16日の多民族研究学会で発表した。

2018年度は、カリブ文学とエコクリティシズムの理論的な枠組みについて、2018年3月発行の『都留文科大学研究紀要』第87号197-206(総9頁)「カリブ文学からみるポストコロニアリズムとエコクリティシズム」としてまとめた。

また、ハイチ出身のマリー・ヴュー・ショヴェの(Marie Vieux-Chauvet) *Fonds des Nègres* (1961)と *Amour, Colère, Folie* (1969)の分析を行い、"Reading Haitian Literature in Postcolonial and Ecocritical Perspectives"として2018年7月4日～6日開催のSociety for Caribbean Studies 42nd Annual Conference (Institute of Advanced Legal Studies, University of London)にて発表した。

さらに、ガイアナ出身で英国在住のポーリーン・メルヴィル(Pauline Melville)の *The Migration of Ghosts* (1998)について考察した論考を"Reading Pauline Melville's *The Migration of Ghosts*"として2018年10月20日に開催されたInternational Conference on Ecocriticism and Environmental Studies (Birkbeck, University of London)で発表した。

2019年度には前年度のSociety for Caribbean Studies 42nd Annual Conferenceでの発表を論文としてまとめ、"Reading Haitian Literature in Postcolonial and Ecocritical Perspectives"として2019年3月発行の『都留文科大学研究紀要』第89号41-50(総9頁)に発表した。

また、上記の論文の内容を日本語に訳して大幅に加筆訂正をし、マリー・ヴュー・ショヴェとシモーヌ・ポーヴォアールとの関連についても述べ、カリブ海域文学のエコフェミニズムについて考察した論考を、2019年8月31日開催のASLE-Japan文学・環境学会全国大会(大東文化大学)「シンポジウム：カリブ海地域の文学と動物、環境、自然」で発表した。

さらに、前年度のInternational Conference on Ecocriticism and Environmental Studiesの学会発表の内容を論文にしたものを"Reading Pauline Melville's *The Migration of Ghosts*"としてまとめ、2019年10月発行の『文学と環境』第22号15-22(総7頁)に発表した。

最終年度の2020年には、ハイチからアメリカに移住して作家となったエドウィージ・ダンティカが、どのようにマリー・ヴュー・ショヴェの思想の継承したかについて考察した"Reading Edwidge Danticat's *Dew Breaker* (2004), and *Claire of the Sea Light* (2013)"を2020年10月17日に開催された、International Conference on Ecocriticism and Environmental Studies(Zoom開催)で発表した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 4件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 齊藤みどり	4. 巻 24
2. 論文標題 Reading Edwidge Danticat's The Dew Breaker (2004) and Claire of the Sea Light(2013)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 文学と環境	6. 最初と最後の頁 24-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 齊藤みどり	4. 巻 22
2. 論文標題 Reading Pauline Melville's The Migration of Ghosts	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 文学と環境	6. 最初と最後の頁 15-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 齊藤みどり	4. 巻 第89集
2. 論文標題 Reading Haitian Literature in Postcolonial and Ecocritical Perspectives	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都留文科大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 41-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 齊藤みどり	4. 巻 87号
2. 論文標題 カリブ文学からみるポストコロニアリズムとエコクリティシズム	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都留文科大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 197-206
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計6件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 4件）

1. 発表者名 齊藤みどり
2. 発表標題 Reading Edwidge Danticat 's Dew Breaker (2004), and Claire of the Sea Light(2013)
3. 学会等名 International Conference on Ecocriticism and Environmental Studies(Zoom開催) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 齊藤みどり
2. 発表標題 マリー・ヴュー・ショヴェ 『愛、怒り、狂気』について（シンポジウム「カリブ海地域の文学と動物、環境、自然」内の発表）
3. 学会等名 第 25 回 ASLE-Japan / 文学・環境学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 齊藤みどり
2. 発表標題 Reading Haitian Literature in Postcolonial and Ecocritical Perspectives
3. 学会等名 Society for Caribbean Studies 42nd Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 齊藤みどり
2. 発表標題 “Reading Pauline Melville 's The Migration of Ghosts ”
3. 学会等名 International Conference on Ecocriticism and Environmental Studies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Midori Saito
2. 発表標題 Caribbean Dialogue on Ecocriticism
3. 学会等名 International Conference on Ecocriticism and Environmental Studies (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 齋藤みどり
2. 発表標題 「プロットとプランテーション ハイチ文学にみるポストコロニアリズムとエコクリティシズム」
3. 学会等名 多民族研究学会
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関